

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(インフルエンザ/COVID-19定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 18 週 2025年4月28日 ~ 2025年5月4日

## 今週のコメント

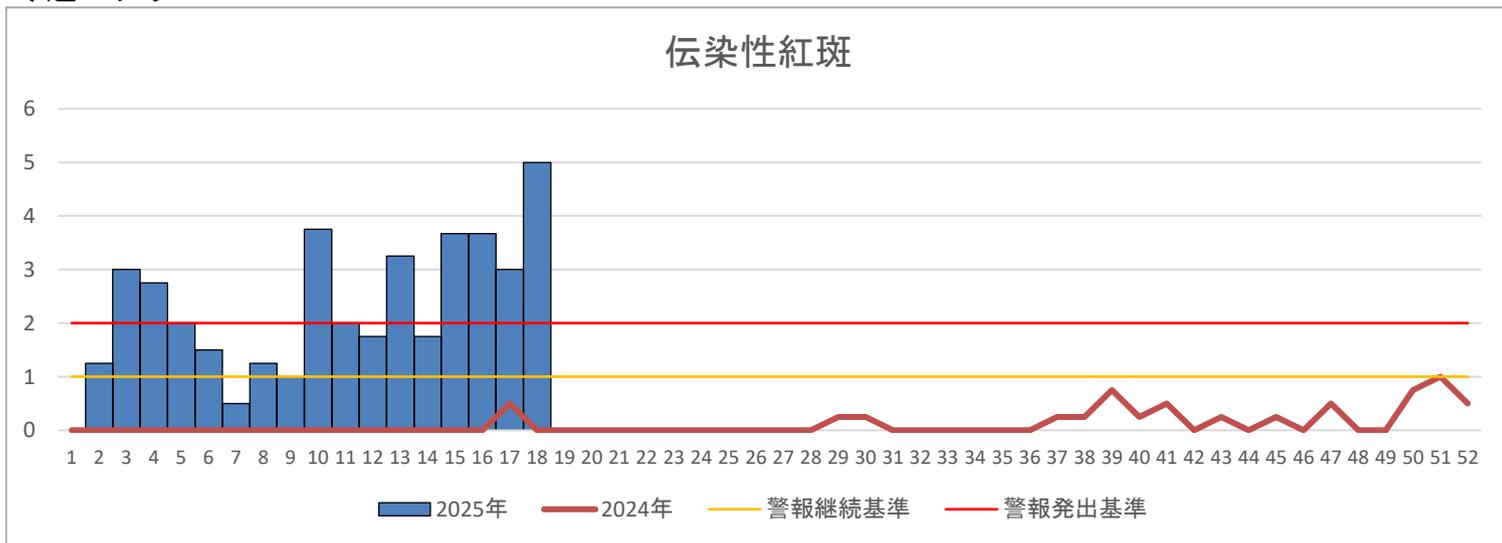
乙訓管内では、

①「伝染性紅斑」は、引き続き警戒レベルです。定点あたり報告数 5.0(前週3.0)。

②百日咳(全数把握疾患)は、1例報告され、今年に入って6例目です。京都府全体では、274と、報告数が最も多かった2019年の年間報告数(255)を上回り、過去最多となっています。生後6か月未満で重症化しやすい感染症です。生後2か月を迎えたら速やかに5種混合ワクチンを接種しましょう。

③「ARI(急性呼吸器感染症)」は、定点あたり報告数 37.2(前週42、前々週40.0)。ARIは、咳嗽、咽頭、呼吸難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から11日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う場合に報告対象としています。

## 今週のグラフ



注意報・警戒継続基準 (Yellow line) 警戒発出基準 (Red line)

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.20	手足口病	-
新型コロナウイルス感染症	1.20	伝染性紅斑	5.00
RSウイルス感染症	0.33	突発性発しん	0.33
咽頭結膜熱	-	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	9.33	急性出血性結膜炎	-
水痘	-	流行性角結膜炎	-

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 急性呼吸器感染症定点 : 5箇所

小児科定点 : 3箇所

眼科定点 : 1箇所

全数報告疾病

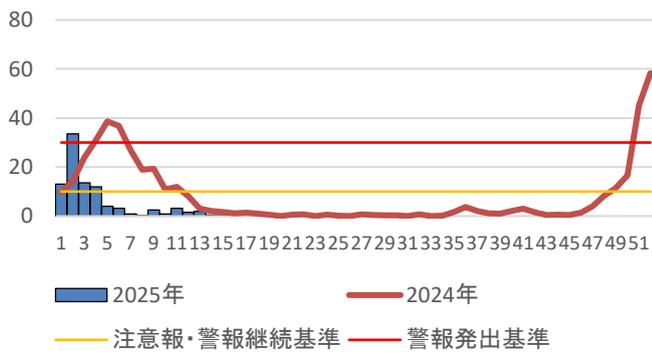
梅毒(1人)百日咳(1人)

## 参考資料

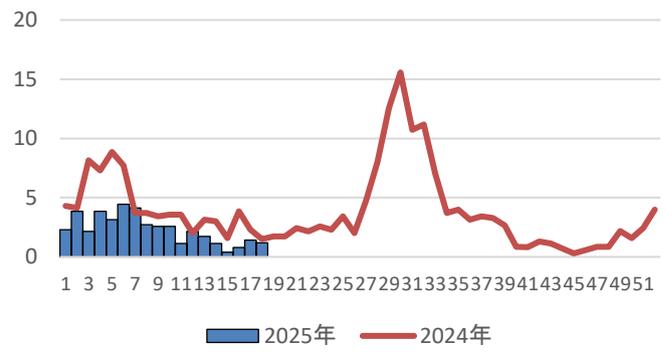
京都府感染症情報センター <https://www.pref.kyoto.jp/idsc/>

# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

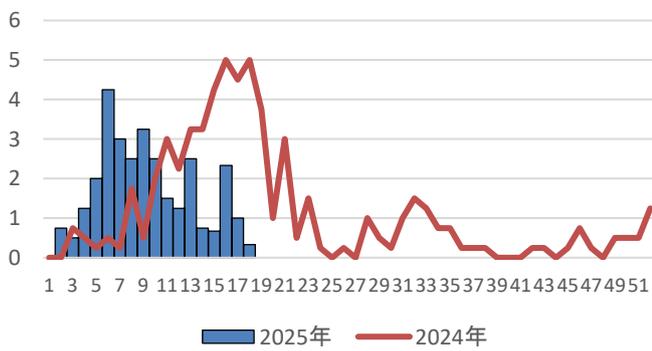
## インフルエンザ



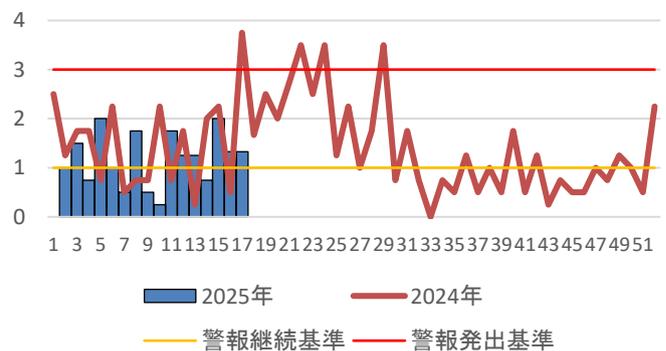
## 新型コロナ



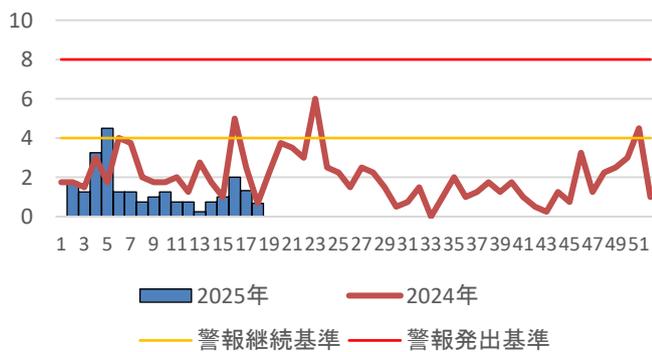
## RSウイルス感染症



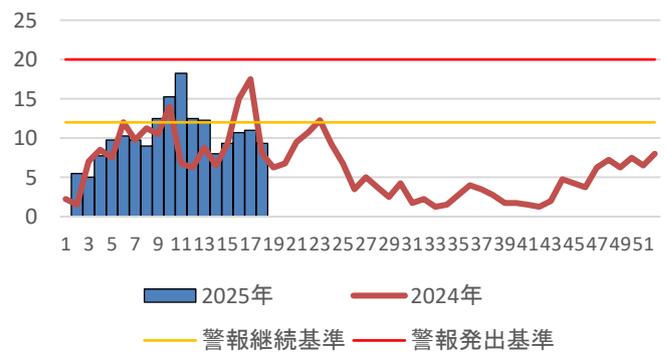
## 咽頭結膜熱



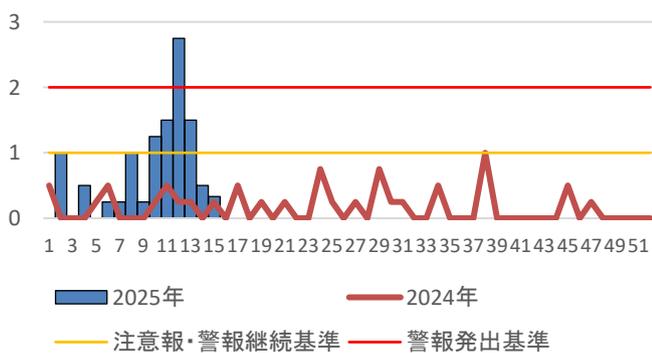
## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



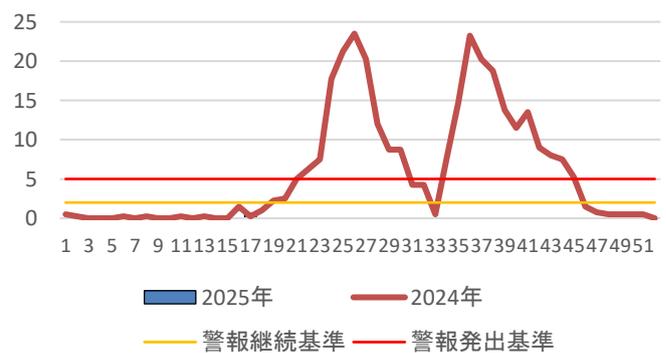
## 感染性胃腸炎



## 水痘

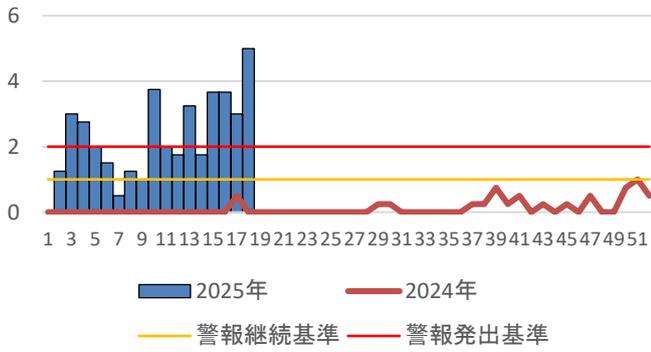


## 手足口病

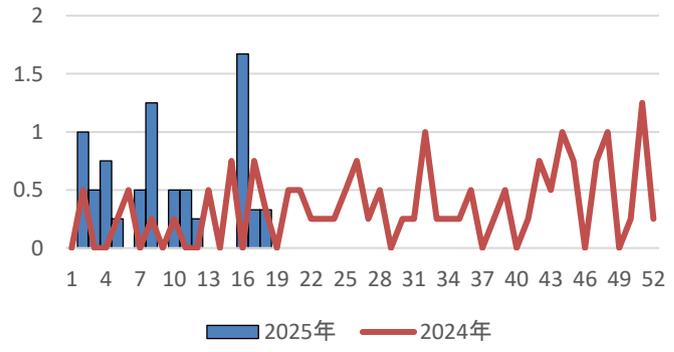


# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

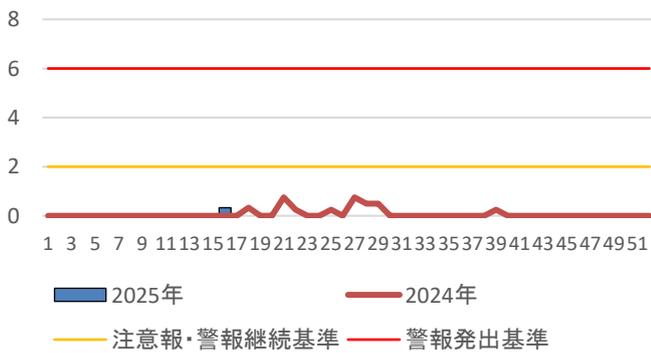
## 伝染性紅斑



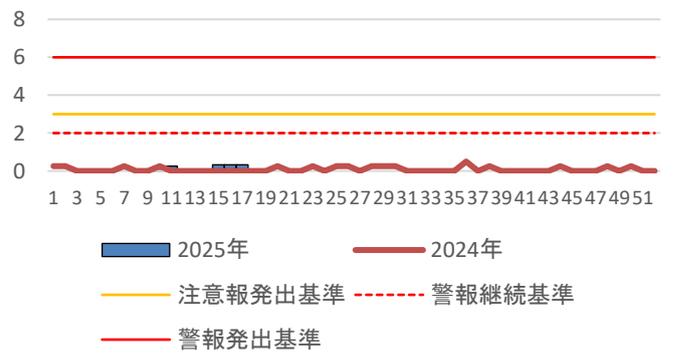
## 突発性発しん



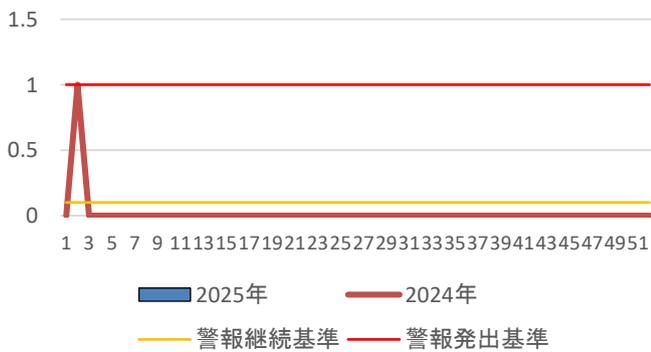
## ヘルパンギーナ



## 流行性耳下腺炎



## 急性出血性結膜炎



## 流行性角結膜炎

